

令和5年10月17日研究公開報告

令和4・5年度県教育委員会指定モデル校 令和4・5年度大隅地区研究協力校研究公開 鹿屋市立大始良小学校で 「小学校高学年教科担任制実践研究」についての 研究公開が開催されました。

令和5年10月17日(火)に、鹿屋市立大始良小学校にて、県教育委員会指定モデル校・大隅地区研究協力校「小学校高学年教科担任制実践研究」の研究公開が行われました。大始良小学校は、令和4年度から県内16校のモデル校の一つとして2年間研究を進め、県内で初めて研究公開を開催しました。研究主題は「小学校高学年を中心とした授業の質の向上と児童理解の充実をめざして～教科担任制における多様な指導体制から～」です。当日は、県内各地から多数の参加者が集い、先進的な研究を基にした教科担任制の具体的な実践について学び合うことができました。授業は、交換授業と専科授業の2型で国語と算数を公開されました。授業研究では参加者の称賛が響き、指導講話も学ぶことが多くて、とても素晴らしい研究公開でした。



【開会のあいさつ】
中村成美校長先生

【研究発表】

大始良小の研究について研修係の山内先生が紹介されました。「本校における教科担任制システム」、「質の高い授業」、「多面的な児童理解・環境整備」、「成果と課題」等、先進的で具体的な内容ばかりでした。3型の指導体制(交換・専科・分担)等、本校独自の工夫や努力が伝わり、そこに大始良小教職員全員の「チーム力」を強く感じました。 [研修発表の様子]



【公開授業：第5学年】

単元名「資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう」(教材名「固有種が教えてくれること」光村5年)
第5学年では、隣の学級担任が行う「交換授業」の型で国語科の授業を公開されました。同じ授業を複数回行うので、教材研究を深めることができる上に、児童の実態に応じて、よりよい指導の在り方も追究できます。児童もまるで担任との授業のように岡元先生を信頼し、熱心かつ楽しく学んでいました。



【公開授業：第6学年】 [5年生の授業]

単元名「立体の体積」(学図6年)
第6学年では、「専科教員による授業」の型で、算数専科の森脇先生が授業を公開されました。5・6年において同じ教科を担当するため、系統性がよく見え、指導に生かすことができるそうです。教具やワークシートの等の準備もより充実しているそうです。児童も数学的活動に意欲的に取り組んでいました。



【6年生の授業】

【指導講話】

県教育庁義務教育課の前山指導主事が指導講話の中で、県内の教科担任制の推進について詳細に説明されました。モデル校が本年度新たに16校設定されたそうです。今後ますます教科担任制の研究が深まっていくことでしょう。 [指導講話の様子]



【指導講話の様子】